

中播磨支部運営委員会

播磨OH!



～HARIMA～

65号

発行責任者
支部長 富田徹矢
機関誌担当 鴨谷和明



2024年4月発行



支部長挨拶

厚生病院 富田 徹矢



平素は兵庫県理学療法士会中播磨支部の活動につきまして、会員の皆様のご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度も中播磨支部が主催する研修会や新人発表会等が無事に開催できたことに心より感謝いたします。また、3士会合同の啓発活動を市民の皆様向けに行い、多くの市民の皆様にご参加いただき大盛況の内に終了いたしました。地域の健康意識の向上や理学療法の理解を広める活動は、地域社会とのつながりを強める重要な機会であり、今後も継続して行っていく必要性を改めて感じました。

さらに、今年度は支部主催の症例検討会を初めて開催し、多くの方々にご参加いただけました。症例検討会という場で考えや経験を共有することは、支部の発展に欠かせないものと考えております。多くの皆様のお力添えがあってこそ、より多くの方々にとって有益な情報となり、中播磨の理学療法の水準向上に繋がると考えておりますので、今年ご参加いただけなかった皆様には、是非とも次年度の症例検討会にご参加いただければと思います。また、2月に開催された姫路城マラソンにおいて、支部から26名の先生方がメディカルスタッフとして参加し、地域に貢献してくださいました。安全なイベント運営に不可欠な役割を果たし、地域社会に対する理学療法士の存在価値を示すことができたと考えております。本当にありがとうございました。皆様、ご存じの通り次年度は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービスのトリプル改定が予定されており、我々理学療法士にとって環境の変化が大きいことが予想され、支部全体で情報収集や意見交換を行い、対応策を共有することが重要と考えております。次年度の支部活動の予定の中に「支部コミュニティ再編プロジェクト」というものがあり、中播磨支部内での横の繋がりを構築できるような機会を提供できるよう企画しておりますので、是非ご参加いただき地域の医療ニーズや職場での取り組みなどを共有していただけたらと思います。患者様・利用者様のために最適な医療を提供していくためにも、異なる環境で働いているセラピストとのコミュニケーションは大変有益なものとなると考えておりますので、ご参加いただければ幸いに存じます。

次年度も引き続き支部長として活動を継続いたします。支部の発展に向けて努力し、会員の皆様と共に支部の運営を行って参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。





退任挨拶

**今年度にて三野先生が退任されます。
三野先生は12年間、中播磨支部の活性化にご尽力いただきました。**



社会医療法人 松藤会 入江病院
三野貴裕

本年度をもちまして中播磨支部運営委員を退任させていただくこととなりました、入江病院の三野です。12年前に当時の支部長に声を掛けていただき、支部運営に携わることになりました。2019年度からは中播磨支部長という大変責任のある役をさせていただきました。何とか支部会員の皆様の力になれるよう意気込んでいましたが、新型コロナウイルスの流行により、支部運営を大きく方向転換しなければなりませんでした。今では当たり前となったオンライン研修ですが、初めてオンラインで支部研修会を実施することになった時は、大きなプレッシャーで不安な日を過ごしたことを今でも覚えています。県士会役員や支部運営スタッフの方々に助けられ大きなトラブルもなく運営することができました。今後は中播磨支部会員として中播磨地域のリハビリを盛り上げていきたいと思っておりますので、今後とも、中播磨支部運営にご協力いただきますようお願いいたします。





3士会合同啓発活動



社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院 小林優太

2023年8月20日（日）に姫路医療専門学校で3士会合同啓発活動を実施しました。今年度は、小学校4～6年生を対象に、夏休みの自由研究で楽しく学ぶりハビリティイベントとして実施しました。13組19名の小学生が参加されました。理学療法士会では、啓発動画の視聴と3種類の体験を実施しました。車いす体験では、自分で駆動することや保護者を乗せ介助すること、車いす使用者が不便なことを考えることの3つを実施しました。体力測定では、柔軟性、筋力、バランスの3種類のテストを行いました。骨標本のブースでは、クイズや骨標本を触ってもらいました。1グループが約45分と短い間でしたが、子供たちが楽しく学んで頂き、理学療法士という職業について興味を持ってもらう機会となりました。



中播磨・西播磨支部合同研修会

医療法人仁寿会 石川病院 大谷武史

12月17日(日)に「教育理論に基づいた指導方法と卒後教育」というテーマで中播磨支部西播磨支部合同研修会が開催されました。講師は帝京平成大学の芳野純先生で、50名以上の参加者による活発なグループワークを含んだ有意義な研修会となりました。

指定規則改正により卒後教育の重要性が見直され、理学療法士の供給過多も相まって、臨床現場では試行錯誤を繰り返しながら療法士教育が実践されています。一方で、療法士教育を理論的に学ぶ機会は極端に少なく、そのような状況において今回の研修会は大変意義のある機会になったと思います。教育の理論的背景を学びつつ、グループで話し合いながら実践的な教育方法を考えるという形式でしたが、参加者は皆熱心に取り組まれていたことがとても印象的でした。

今回は西播磨支部が担当でしたが、来年度は中播磨支部が担当となりますので、今回のような実りある研修会を目指して準備いたしますので、また案内が出ましたら是非ともご参加いただけると幸いです。





新人発表会



社会医療法人 松勝会 入江病院 張間大生

令和5年度中播磨支部新人発表会が、去る令和6年1月28日（日）に開催されました。今年度も昨年度同様にオンライン会議アプリであるZoomを利用したWeb上での開催でしたが、計43名の先生方が無事に発表を行う事が出来ました。録音したデータでの発表ではありましたが質疑応答では座長の先生方を中心に様々な視点から質問やアドバイスを頂く事が出来ました。更に、今年度も談話コーナーを設けることで、質疑応答の時間では伝えきれなかったアドバイス等を頂くことが出来、発表者の先生方も質疑応答時よりもフランクに談話することが出来たかと思えます。参加者皆様のご協力のおかげで有意義な発表会にすることが出来ました。運営委員一同、心より感謝申し上げます。

兵庫県理学療法学会 推薦演題決定！！

今年度、新たに第35回兵庫県理学療法学会(令和6年9月15日：アクリエ姫路)への支部推薦演題の選考基準が変更となっております。

今回の支部推薦演題は数名の先生が一定の点数を満たしました。おめでとうございます！！日頃の努力が報われた結果かと思えます。是非とも学会へ挑戦して頂き、自己研鑽を積んでいただけたらと思えます。これからも皆様の益々のご活躍されることと期待しております。





中播磨支部主催症例検討会

医療法人仁寿会 石川病院 田中匠

2024年1月28日（日）令和5年度中播磨支部新人発表会と同日に中播磨支部主催症例検討会を実施しました。今年度は「内部障害」をテーマに2名の先生方に症例提示を行っていただき、聴講者は総勢80名でした。

一演題目は反復性の誤嚥性肺炎患者に対して新しく導入した嚥下方法への介入、二演題目は肺気腫患者に対する行動変容について症例提示していただき、両演題を通して、特に内部障害患者に対して理学療法士による患者教育の重要性はもちろん、ST、OTのリハ職や医師、看護師、管理栄養士、ナースエイドと多職種への情報提供、スタッフ間の認識の統一化など連携の重要性を強く感じる内容でした。

質疑応答では各施設での導入内容や難渋点、工夫点などの共有が行え、活発な意見交換が行えました。いずれの症例検討も勉強となり、今後の臨床の参考となる内容でした。今回の症例検討で学んだ内容を明日からの臨床に役立てていただければ幸いです。





世界遺産姫路城マラソン2024

段医院 木村公一



令和6年2月11日(日)に世界遺産姫路城マラソン2024が開催され、9000名を超えるランナーが姫路市内のコースを思い思いに駆け抜けていきました。中播磨支部からも救護所理学療法士として26名が救護現場活動に出務し、ランナーの応急処置対応を行いました。重症事案の発生もなく、安全・安心の大会として活動を終えることができました。普段とは違うスポーツイベントでの活動は、大変貴重な経験になったことと思います。スポーツを通じて理学療法士の活動の幅が広がるよう、支部としても取り組んでいきたいです。来年度も大会をサポートしていきますので、ご興味のある先生は是非世界遺産姫路城マラソンの救護活動にご参加ください。





活動実績



令和5年

5月27日～28日 第58回日本理学療法学会学術研修大会

★6月 播磨OH！ 第64号発行

6月25日 第34回兵庫県理学療法学会学術大会

★7月11日 第1回中播磨支部Web研修会

テーマ：エビデンスに基づく人工股関節全置換術術後患者
への実践的理学療法

参加者：約320名

★7月15日 中播磨支部管理者ネットワーク会議

★8月20日 3士会合同リハビリテーション啓発活動

★8月24日 新人発表会直前対策説明会

★12月17日 中播磨・西播磨合同研修会

テーマ：教育理念に基づいた指導方法と卒後教育

参加者：約50名以上

令和6年

★1月28日 新人発表会 発表者：43名

中播磨支部主催症例検討会

2月3日～4日 第63回近畿理学療法学会学術大会

★2月11日 世界遺産姫路城マラソン2024

★3月 播磨OH！ 第65号発行





編集後記



春の風が心地よい季節となりましたが、おかわりございませんか。無事に最終号を発行することができました。これも原稿依頼を快く引き受け、支部活動に協力して頂ける先生方のおかげと感謝しております。今後も御協力をお願いすることがあると思いますが、宜しくお願い致します。

COVID-19が第5類となっておりますが、支部活動にも例年同様影響を与えています。研修会に関しては、Web開催のみを余儀なくされています。懇親会も開催の目途が立っておりません。会員同士の交流の機会が無くなり、大変残念に思っています。来年度は新人発表会を含め対面形式での研修会や懇親会等を検討しております。会員の皆様には今後ご迷惑をおかけするかもしれませんが、これからも運営委員一同結束し、取り組み解決してきます。今後とも中播磨支部活動および運営委員を宜しくお願い致します。

機関誌担当 かんざき訪問看護ステーション 鴨谷和開

会員の皆様にお願い

会員の異動動向や新人の就職動向の把握が県士会および支部の運営委員だけでは困難となってきています。近隣にリハ部門開設予定・開設した病院や新人が就職予定・就職した病院はありませんか？

何か情報がありましたら、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

中播磨支部事務局 医療法人仁寿会 石川病院 大谷武史

次回発行予定をお楽しみに！

